

## 学会の動き

# 平成 22 年度日本難病看護学会総会 議事録

日時： 平成 22 年 8 月 28 日(土) 11 時 45 分～12 時 30 分

会場： 山形県立保健医療大学 第 1 会場(講堂)

## 1. 平成 21 年度事業報告

本田理事より、下記の事業内容について報告された。

### 1) 第 14 回日本難病看護学会学術集会開催

会長： 牛久保 美津子 (群馬大学)  
メインテーマ： 「難病のトータルケアの発展をめざす」  
会場： 前橋テルサ (群馬県前橋市)  
会期： 平成 21 年 8 月 28 日(金)～29 日(土)  
参加者： 約 400 人

### 2) 学会誌発行

14 巻 1 号 平成 20 年 7 月発行 96 頁  
(第 14 回日本難病看護学会学術集会プログラム・抄録集)  
14 巻 2 号 平成 20 年 12 月発行 71 頁  
14 巻 3 号 平成 21 年 3 月発行 40 頁

- ◆ 投稿規程の改正: 投稿者の資格を「論文投稿者は共著者を含め学会員であること」と定めた。
- ◆ 倫理規定の策定: 倫理規定を策定し、学会員に送付した。

### 3) 理事会開催(合計 3 回)

平成 22 年 5 月 28 日(金): 第 14 回学術集会会計報告、第 15 回学術集会開催計画、委員会報告  
平成 21 年度会計報告、平成 22 年度予算案報告  
平成 22 年 7 月 22 日(木): 第 15 回学術集会開催計画、平成 20 年度総会準備、委員会報告  
日本難病看護学会企画セミナー計画  
平成 22 年 8 月 26 日(木): 第 15 回学術集会開催計画、第 16 回学術集会開催計画

### 4) 学術集会企画委員会開催

第 14 回学術集会企画委員会開催  
第 15 回学術集会企画委員会開催

## 5) 学術関連の活動等

### (1) 日本看護系学会連絡協議会:

日本学術会議および国内の学術組織と交流・相互協力を行う。  
社会に貢献できる看護学研究を推進する。

### (2) 看護系学会等社会保険連合:

以下の委員会活動において、①の委員学会として活動を進める。

①看護技術検討委員会

②診療報酬および介護報酬体系のあり方に関する検討委員会

### (3) 社会福祉系学会連合 → 平成 22 年度より退会

社会福祉系学会の学会活動の質の向上と社会貢献を目指すための情報交換並びに連携を行う。

### (4) 社会学系コンソーシアム → 平成 22 年度より退会

社会学系(社会福祉学・社会学)所学術団体よりなる連合体として、学術の発展への寄与と社会への貢献を行う。

## 6) 日本難病看護学会として得た研究助成金による研究活動

### (1) 平成 21 年度独立行政法人福祉医療機構助成事業

交付金額;4,307 千円

「医療依存度の高い在宅重度・重複障害者に対する、看護・介護・一般の人々による支援方法の普及に関する事業」

### (2) 文部科学省科学研究費補助金 研究成果公開促進費「研究成果公開発表(B)」

交付金額:800 千円

「地域で取り組む難病療養者に寄り添うこころのケア」

### (3) これまでの成果

#### ① 文部科学省科学研究費補助金 研究成果公開促進費「研究成果公開発表(B)」

平成 15 年度	720 千円	第 8 回学術集会 公開シンポジウム 「安心して在宅療養生活をすごすために」
平成 16 年度	1,200 千円	第 9 回学術集会 公開シンポジウム 「尊厳ある新たな生活構築とその支援」
平成 17 年度	1,250 千円	第 10 回学術集会 公開シンポジウム・公開セミナー 「難病医療ネットワークの課題と展望」
平成 18 年度	1,210 千円	第 11 回学術集会 公開シンポジウム 「難病療養者と家族を支えるケアの課題と展望」
平成 20 年度	700 千円	第 13 回学術集会 公開シンポジウム 「療養者とともに拓げる質の高い療養生活」
平成 21 年度	800 千円	第 14 回学術集会 公開シンポジウム 「地域で取り組む難病療養者に寄り添うこころのケア」

## ② 独立行政法人医療福祉機構福祉基金助成事業

平成 13 年度	4,420 千円	「在宅難病療養者の社会参加の支援に関する普及事業」
平成 14 年度	4,575 千円	「在宅神経難病療養者の意思伝達・コミュニケーション障害に対する支援方法の基準化と普及事業」
平成 15 年度	1,547 千円	「進行する身体機能障害を持つ児童・生徒の社会生活活動とボランティア育成に関する事業」
平成 16 年度	1,285 千円	「進行する重度の身体機能障害を持つ児童・生徒の社会生活活動を豊かにする、大学生等によるボランティア活動の安全性に関する事業」
平成 17 年度	2,545 千円	「重症心身障害児の安全な移送のビデオ作成と支援ネットワーク事業」
平成 18 年度	1,188 千円	「医療ニーズの高い重度障害者の社会参加と生活支援に関わるネットワーク構築と普及事業」
平成 19 年度	1,485 千円	「高医療依存度重度障害者における社会参加と支援ネットワークの普及事業」
平成 20 年度	1,830 千円	「進行性・重度障害者の社会参加・自立を促進する意思伝達手段の確保のための支援ネットワーク構築・普及事業」
平成 21 年度	4,307 千円	「医療依存度の高い在宅重度・重複障害者に対する、看護・介護・一般の人々による支援方法の普及に関する事業」

## 7) セミナー等による研究成果の普及交流活動

### (1) 第 14 回日本難病看護学会学術集会におけるセミナー等

- ◆ ランチョンミニシンポジウム  
「たんの吸引問題」における看護の役割
- ◆ 公開セミナー  
「神経難病療養者への日常ケアお悩み討論会：腹部膨満感への対応」
- ◆ スキルアップセミナー  
「難病療養者の栄養と QOL」

### (2) 日本難病看護学会 企画セミナー

- ◆ 維持・伝心 人の輪と和づくりのコミュニケーション  
神経難病をもつ方々の意思伝達手段確保のために  
日時：平成 21 年 9 月 26 日(土) 13:00～16:30  
会場：首都大学東京秋葉原サテライトキャンパス

2. 平成 21 年度会計報告(自 平成 21 年 4 月 1 日 至 平成 22 年 3 月 31 日)

収入の部			
科目	予算	決算	(決算-予算)
① 会費 1)	3,600,000	3,735,000	135,000
② 報告集・学会誌売上 2)	100,000	160,904	60,904
③ 寄付 3)	0	70,000	70,000
④ 雑収入 4)	1,000	29,525	28,525
⑤ 学術集会還元金(第 14 回学術集会)	0	500,000	500,000
⑥ セミナー収益 5)	0	79,769	79,769
⑦ 前年度繰越金	4,021,667	4,021,667	0
収入合計	7,722,667	8,596,865	874,198

- 1) 計 415 人(H22 年度前受け金 2 人分+H21 会費 283 人分+H20 会費 112 人+H19・H18 会費 18 人分)
- 2) 学会誌売上計 101 部
- 3) 役員寄付計 50,000 円+学会員寄付計 20,000 円
- 4) 文献許諾使用料 29,525 円
- 5) 9/26(土)学会企画セミナー「維持・伝心」(首都大学東京秋葉原サテライトキャンパス)

支出の部			
科目	予算	決算	(決算-予算)
① 学会誌印刷費(14(1)700 部、(2)～(3)各 650	860,000	809,785	△50,215
② 学術集会補助金(第 15 回学術集会)	500,000	500,000	0
③ 学術団体活動分担金等 1)	208,000	178,000	△30,000
④ 会員管理費等 (6,280 円×88 人日)	552,640	552,640	0
⑤ 人件費 (6,280 円×80 人日)	502,400	502,400	0
⑥ 送料・手数料	400,000	394,410	△5,590
⑦ 会議費	60,000	0	△60,000
⑧ 事務費	450,000	289,116	△160,884
⑨ 雑費	50,000	0	△50,000
⑩ セミナー等費 2)	100,000	100,000	0
⑪ 予備費	4,039,627	0	4,039,627
支出合計	7,722,667	3,326,351	△4,396,316

- 1) 日本看護系学会連絡協議会 会費 80,000 円、看護系学会等社会保険連合 会費 50,000 円  
社会福祉系学会連合 会費 40,000 円、日本学術協力財団「学術の動向」購読代金 8,000 円
- 2) 9/26(土)学会企画セミナー「維持・伝心」(首都大学東京秋葉原サテライトキャンパス)

次年度繰越金                      8,596,865 円    -    3,326,351 円                      =    5,270,514 円

### 3. 平成 21 年度会計監査報告

小西理事より上記のとおり会計報告があり、川村佐和子監事から会計報告に相違なく、帳簿類も正確に記載されていたという会計監査報告があり、承認された。

### 4. 平成 22 年度事業計画

本田理事より、下記の事業計画が報告され、承認された。

#### 1) 第 15 回日本難病看護学会学術集会

会長： 菅原 京子（山形県立保健医療大学）  
メインテーマ： 「療養者・家族の“心豊かにいきる”選択を支える」  
会場： 山形県立保健医療大学(山形県山形市)  
日時： 平成 22 年 8 月 27 日(金)～28 日(土)

#### 2) 学会誌発行(15 巻 1 号発行、2～3 号発行予定)

15 巻 1 号 平成 22 年 7 月発行  
15 巻 2 号 平成 22 年 12 月発行予定  
15 巻 3 号 平成 23 年 3 月発行予定

#### 3) 学術関連の活動等

##### (1) 日本看護系学会連絡協議会：

日本学術会議および国内の学術組織と交流・相互協力を行う。  
社会に貢献できる看護学研究を推進する。

##### (2) 看護系学会等社会保険連合：

以下の委員会活動において、①の委員学会として活動を進める。

①看護技術検討委員会

②診療報酬および介護報酬体系のあり方に関する検討委員会

#### 4) 研究助成金による研究活動

##### (1) 平成 22 年度独立行政法人福祉医療機構助成事業

交付金額:2,788 千円

「医療依存度の高い在宅重度障害者の日常生活活動における安全で有効な支援方法の開発・普及と連携システムのあり方、および家族支援に関する事業」

##### (2) 平成 22 年度文部科学省科学研究費補助金研究成果公開促進費「研究成果公开发表(B)」

交付金額:900 千円

「療養者・家族の“心豊かにいきる”選択を支える」

## 5) セミナー等による研究成果の普及交流活動

日本難病看護学会企画セミナー

テーマ:維持・伝心 神経難病療養者のコミュニケーション支援

日時:平成 22 年 8 月 26 日(木) 13:30~16:30

会場:山形県立保健医療大学

## 5. 平成 22 年度予算案(自 平成 22 年 4 月 1 日 至 平成 23 年 3 月 31 日)

小西理事より、下記のとおり予算案が報告され、承認された

収入の部			
科目	H21 年度予算	H22 年度予算	
① 会費	3,600,000	3,600,000	9,000 円×400 人
② 報告集・学会誌売上	100,000	100,000	
③ 寄付	0	0	
④ 雑収入	1,000	1,000	
⑤ 学術集会還元金(第 15 回学術集会)	0	0	
⑥ 前年度繰越金	4,021,667	5,270,514	
収入合計	7,722,667	8,971,514	
支出の部			
科目	H21 年度予算	H22 年度予算	
① 学会誌印刷費	860,000	860,000	
② 学術集会補助金(第 16 回学術集会)	500,000	500,000	
③ 学術団体活動分担金等	208,000	138,000	
④ 会員管理費等	552,640	552,640	
⑤ 人件費	502,400	502,400	
⑥ 送料・手数料	400,000	400,000	
⑦ 会議費	60,000	60,000	
⑧ 事務費	450,000	300,000	
⑨ 雑費	50,000	50,000	
⑩ セミナー等費	100,000	210,000	
⑪ 選挙管理費	0	100,000	
⑫ 予備費	4,039,627	5,298,474	
支出合計	7,722,667	8,971,514	

### (1) 平成 21 年度までの未納会費の徴収について

#### ① 会費滞納者の取り扱いについて

平成 19~21 年度の会費滞納者に会費納入の依頼書を送付した。このうち退会希望者および住所不定者の 75 名を退会したものとみなした。

日本難病看護学会規約 第 6 条(会費)の改正により、平成 21 年度より滞納期間が「3 年間」→「2 年間」となった。(平成 20 年度総会承認済)

## 6. 日本難病看護学会 理事・監事選挙開票結果報告

### 1) 日本難病看護学会 理事・監事選挙結果

小長谷理事(日本難病看護学会選挙管理委員長)より選挙に関し以下の報告があり、承認を得た。

日本難病看護学会理事・監事の任期が、平成 23 年 3 月 31 日で満了するに伴い、日本難病看護学会規約に従い、理事・監事選挙を行った。

- ◆ 平成 22 年 6 月初旬に投票用紙等を送付
- ◆ 平成 22 年 6 月 30 日(水)に投票を締切(当日消印有効)
- ◆ 平成 22 年 7 月 7 日(水)に選挙管理委員 3 名で開票を実施
- ◆ 理事・監事当選通知を当選者に送付し、意思確認

上記手順に則り、以下の役員が選出された。

理事:	秋山 智	(広島国際大学)	
	牛久保 美津子	(群馬大学)	
	小倉 朗子	(東京都神経科学総合研究所)	
	小長谷 百絵	(昭和大学)	
	小西 かおる	(昭和大学)	
	菅原 京子	(山形県立保健医療大学)	
	野川 道子	(北海道医療大学)	
	藤田 美江	(北里大学)	
	本田 彰子	(東京医科歯科大学大学院)	
	松下 祥子	(首都大学東京)	
監事:	牛込 三和子	(群馬パース大学)	
	川村 佐和子	(聖隷クリストファー大学大学院)	(50 音順 敬称略)

### 2) 代表理事の選出

日本難病看護学会規約 第 7 条(役員)に基づき、選出された理事による協議の結果、以下の代表理事が選出され、承認を得た。

代表理事: 本田 彰子 (東京医科歯科大学大学院)

### 3) 新理事の推薦

日本難病看護学会規約 第 7 条(役員)に基づき、以下の新理事が推薦され、承認を得た。

推薦理事: 中山 優季 (東京都神経科学総合研究所)  
村岡 宏子 (東邦大学)

## 7. 第 16 回日本難病看護学会学術集会 会長挨拶

小西かおる氏(昭和大学)より、第 16 回日本難病看護学会学術集会が下記の日程及び会場で開催される予定であることが説明され、挨拶が行われた。

第 16 回日本難病看護学会学術集会

会長: 小西かおる (昭和大学)

日程: 平成 23 年 8 月 26 日(金)～27 日(土)

会場: 昭和大学 旗の台キャンパス (東京都品川区) 予定